

にかほ市市制施行20周年を祝して

にかほ市は、今年で市制施行 20 周年という記念すべき節目を迎えました。心よりお祝いを申し上げますとともに、市民の皆さまとこの大きな節目の年を迎えることができましたことを大変嬉しく思います。

本市は平成 17 年 10 月 1 日に、仁賀保町、金浦町、象潟町の 3 町が合併してにかほ市となりました。3 町はそれまでも、ごみ処理や消防などに関して一部事務組合を組織するなど、行政の効率化に一緒に取り組んできた歴史があります。しかしながら、合併に至るまでは多くの調整項目、課題があり、新市誕生までそれらの解決にご尽力されました諸先輩、関係機関や市民の皆さまに対し、深く感謝を申し上げ敬意を表します。

合併翌年には、第 77 回都市対抗野球大会で本市代表の TDK 硬式野球部が全国優勝するという偉業を達成し、にかほ市の誕生に花を添えてくれました。合併 20 周年となる今年も同大会への出場を果たし、残念ながら 1 点差で敗退となりましたが、TDK 硬式野球部の都市対抗野球大会出場は、にかほ市の一体感を作り出してくれている一因であると思います。

新市発足当時の本市議会議員は在任特例による 48 人で構成され、最初の市議会議員選挙で 24 人の定数となり、以降徐々に削減して現在は 16 人となっております。本市議会では「和」を大事にし、会派を超えて議員全員で十分に議論を重ね、より良い議会、より良い市政となるよう努力を続けております。議会での議論の様子は、年 4 回発行の議会広報でお知らせしているほか、議員と市民の皆さまが共通の課題について話し合う機会をつくって参りました。皆さまの声を市政に活かすことが市議会の使命だと考えております。

本市の基本理念は「夢あるまち 豊かなまち 元気なまち」であり、豊かな地域資源を活用した地域産業の振興と魅力ある仕事づくりに取り組むとともに、子どもを産み育てやすい環境、年齢や障がい問わず快適に暮らせる社会、そして、若い人たちが住み続けたいと思えるような環境整備を推進しております。

市制施行 20 周年の節目は、「にかほ市」の新しい 10 年のスタートであり、最初の 10 年がホップ、次の 10 年がステップ、30 周年に向かうこれからの 10 年が大きく飛躍するジャンプの年になるものと思います。二元代表制の一翼を担う市議会といたしましても市民の皆さまが、本市に住む幸せを次世代につなぐことができるようなまちづくりの推進のため、研鑽を重ね、全力で取り組んで参ります。

結びに、市制施行 20 周年を祝し、にかほ市の益々の発展と、市民の皆さまのご健勝とご多幸を祈念申し上げまして、お祝いのことばといたします。



にかほ市議会議長
宮崎 信一

にかほ市市制施行20周年にあたって

にかほ市誕生からちょうど 20 年となる本日、あらためて郷土の発展のためにご尽力いただいた市民の皆さまや関係各位に深く感謝申し上げます。

この 20 年を振り返りますと、合併翌年の平成 18 年、第 77 回都市対抗野球大会で TDK 硬式野球部が全国優勝を果たし、同年末には TDK サッカー部も全国優勝し JFL 昇格を成し遂げたことは、翌年の秋田わか杉国体の開催を含め、合併間もない市民が一体となった忘れられない出来事でした。

そして平成 19 年 3 月、にかほ市最初の総合発展計画が策定され、「夢あるまち 豊かなまち 元気なまち」を基本理念に掲げた新たなまちづくりが本格的にスタートしました。その後、いわゆるリーマンショックがこの地域の経済にも大きな影響を及ぼし、東日本大震災では自然の猛威を思い知らされ、近年では新型コロナウイルス感染症の拡大により市民や事業者の活動が著しく制限されるなど、社会経済情勢は激動しました。しかし、そうした中でも 2 つの中学校や環境プラザ、観光拠点センター、多目的屋内運動場、アウトドア拠点施設などを整備し、日本海沿岸東北自動車道は象潟 IC まで延伸するなど、市民生活を支えるインフラや地域活性化に向けた基盤の整備を着実に進めることができました。

文化面では、白瀬南極探検隊 100 周年記念プロジェクトや池田修三生誕 100 周年事業、「鳥海山・飛島ジオパーク」の日本ジオパーク認定など、ふるさとの偉人の功績や歴史と共に育まれてきた豊かな自然を再認識し、内外に発信する取り組みが進められました。また、本市出身の漫画家・藤本タツキ氏原作の劇場アニメ「ルックバック」が大ヒットし、日本アカデミー賞で最優秀アニメーション作品賞を受賞したことは、本市が物語の舞台になったことも相まって、市民に大きな喜びと誇りをもたらしています。

一方で、合併時には 2 万 9 千人ほどだった人口は、今では 2 万 2 千人弱となり、人口減少社会への対応が最大の課題となっています。そのため、産業振興による雇用促進に加え、市民福祉の向上、特に子育て支援や若者福祉の充実などを図った結果、大手出版社が発表する市町村の住みよさランキングで上位の評価を得ることができ、そして TDK 社員寮の設置などもあって人口の社会動態がプラスとなったことは一筋の光明となっています。

頻発・激甚化する自然災害や不確実性を増す世界情勢、生活のあらゆる場面で進むデジタル化など、社会は大きく変貌していますが、市民や事業者の皆さまと手を取り合い、知恵を出し合いながら、地域の将来を担う子どもたちに「誇れるふるさと」を残していけるよう、次の 20 年へのスタートにあたって、決意を新たにします。



にかほ市長
市川 雄次